

6 - 2 中部地方北西部（飛騨地方北部及び周辺）の最近の地震活動 (9) 1983年7月～12月

Seismic Activity in the Northwestern Chubu Region (Northern Hida and its Surrounding Areas) (9) July - December, 1983

京都大学防災研究所
上宝地殻変動観測所

Kamitakara Crustal Movement Observatory
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

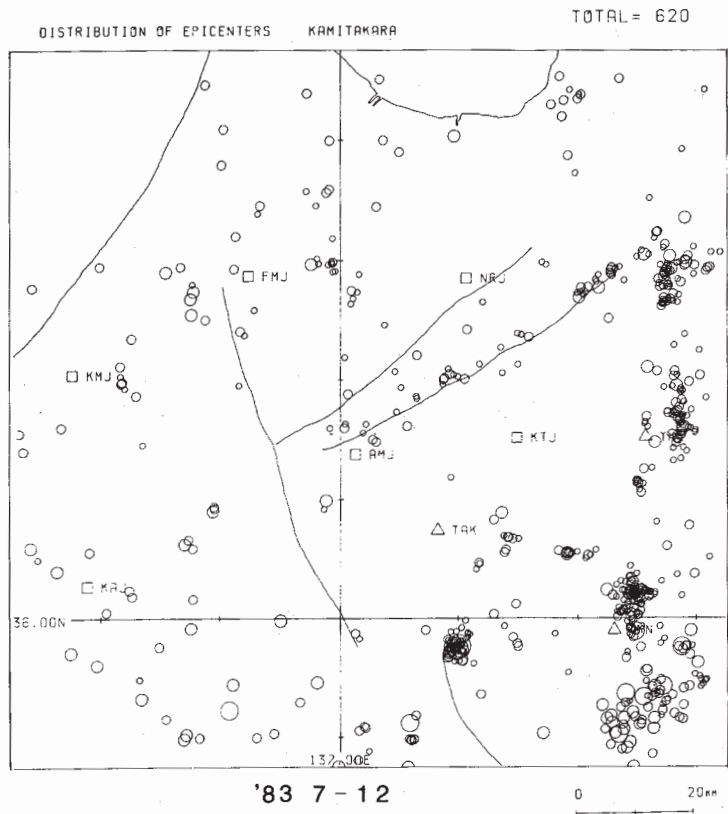
1983年7月より12月迄の最近半年間のこの地域の地震活動状況を第1図に示す。この期間の活動は全般的に見てそれ程活発ではない。このうち最も顕著な活動は10月20日14時20分に阿寺断層北端の東側に発生した $M = 5.0$ の地震とその余震活動である。余震は10月中に51個、11月7個、12月に2個観測された。

これ以外では、飛騨山脈の乗鞍岳附近またはやゝ南方で10月4日 $M = 3.6$ 、10月28日 $M = 3.1$ 、11月7日 $M = 3.8$ の地震が発生、また8、9、10及び12月に穂高岳周辺、11月に烏帽子岳附近に群発活動が見られる。

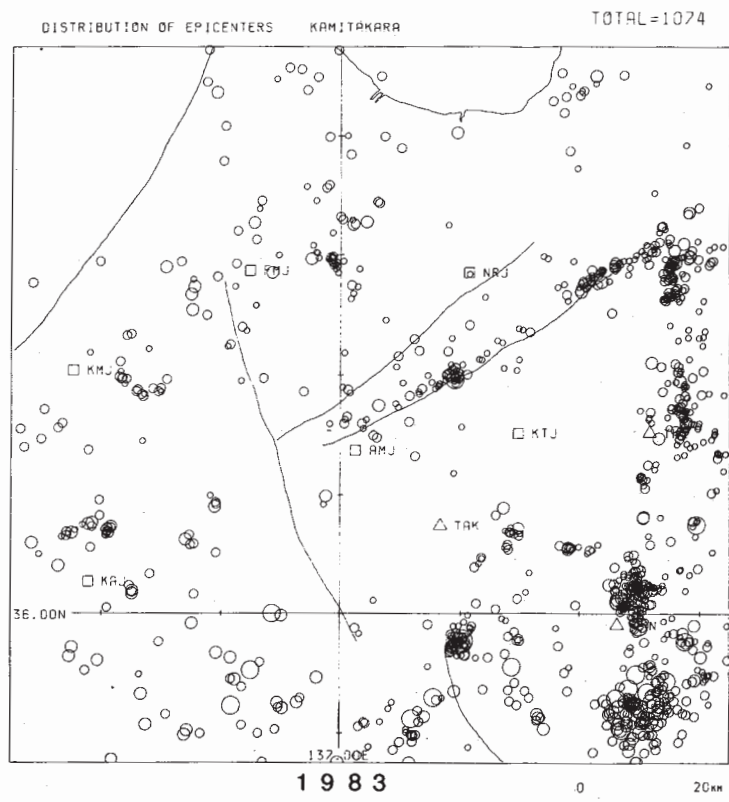
第2図は1983年1年間の活動状況を示したものである。跡津川断層沿い、飛騨山脈下（玉滝村を含む）、高山東方－飛騨萩原附近、富山県南西部などの活動など、基本的には従来の地震活動のパターンは大きくは変わっていない。

参 考 文 献

- 1) 京大防災研究所上宝地殻変動観測所：中部地方北西部（飛騨地方北部及び周辺）の最近の地震活動(6), 連絡会報 **29** (1983), 292 - 296. : 同(7)連絡会報 **30** (1983), 317 - 319. : 同(8)連絡会報 **31** (1984), 381 - 382.
- 2) 名古屋大学理学部高山地震観測所：阿寺断層北部における最近の地震活動, 第67回地震予知連絡会資料。



第1図 飛騨地方北部の地震活動（1983年7月～12月）
 Fig. 1 Seismicity in the northern Hida region, July - December, 1983.



第2図 飛騨地方北部の地震活動（1983年1月～12月）
 Fig. 2 Seismicity in the northern Hida region, January - December, 1983.